



## 水口昌紀くんのパパから

シンボルマークについて、はじめもっと力強く赤ちゃんを「守る」、「助ける」という感じを出そうと考えました。しかし、自分の子供の入院経験からそんなに気張ってしまうようなマークはあまりマッチしないのではないかと考え直しました。それはわが子が入院中に先生が話された言葉、「最終的には、お子さんがどのくらい頑張ってくれるかによりますね。我々はその手助けを出来るかぎりするだけですから」が基点になっています。

この言葉は非常に厳しい現実を表していると思うのですが、それをそのまま素直に表現すればよいのではないかと考えたわけです。従って、頑張っている子供達自身を、まわりの人たちがしっかりと「手助け・サポート」という感じでまとめようと思いました。その結果、サポートするということの子供を抱き上げる形で表現し、抱き上げている両の手が直接的で技術的なサポートをしてくださる「先生」と「看護婦さん達」、親は間接的かつ精神的なサポートということで両手が形作るハートのマークにそれぞれ表現させたつもりです。

[川口市立医療センターNICU](#)   [シンボルマーク](#)   [メニュー](#)   [施設紹介](#)   [フィルムカンファランス](#)  
[2003-2005年年報](#)   [医学中央雑誌掲載の業績](#)   [コアアラ創刊号](#)   [コアアラ第2号](#)   [コアアラ第3号](#)  
[コアアラ第4号](#)   [コアアラ第5号](#)   [ファミリーセンタードケア講演会](#)   [Nasal-CPAPマニュアル](#)   [親の  
会・患者の会](#)   [出版物・資料集](#)   [リンク集](#)